



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 北千木町 2087 25-4854

増やされた基金積み立て

	2010年度末	2011年度末
○財政調整期金	65億4795万円	76億2803万円
○減債基金	5億6731万円	14億6522万円
○都市環境整備基金	5億8822万円	13億8822万円
○公共施設整備基金	4億0000万円	7億0103万円
○その他の基金	57億6756万円	60億7111万円

「歳入を固く見積もった」といって
います。地方交付税が当初予算60億円
に対し5割（39
億円）増、たば
こ税が4割（4
億円）増、法人
市民税が25%
（5億6千万
円）増と、固く
見積もった成果
が随所に出て予
算を大幅に上回
りました。
市民がこれほ
ど困窮している

震災、不況、円高の中でも増やした基金31億円

9月3日から28日まで定例市議会が開かれ、昨年度決算などが
審議されました。今議会は長谷田議員が一般質問を行いました。

3月の大震災による建物の被害、放
射能被害や風評被害。さらに円高不況
と昨年度の市民生活と経済は大きな困
難に直面しました。そんな中で伊勢崎
市は、財政調整基金を10億円、減債基
金を8億円、都市環境整備基金を7億
円、公共施設整備基金を3億円など、
31億円も市財政の貯金にあたる基金
積み立てを増やしました。なぜそんな
に増えたのでしょうか？

ときでも「財政が大変」と、くらし・
福祉の予算を削り、やるべき仕事を
やらずひたすらため込む市政です。
市長公約の「暮らし最優先の市
政」ではなく、
「ため込み最優
先」になってい
ます。

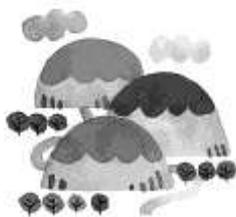


ため込み

**文部大臣から要請書
学校耐震化遅れている137市町**

大震災を教訓に
子ども達の安全を
早急に確保するよ
う求めました。

文部大臣から、伊勢崎を
含め学校耐震化の遅れて
いる137の市町村に、耐
震化促進を求める要請書
が届きました。伊勢崎は幼
稚園耐震化が特に遅れて
いることが理由です。



耐震化が急がれる施設

■大地震（震度6以上）で崩
壊倒壊の危険性が高い施設

豊小体育館	Is値0.15
境東小体育館	0.17
名和小体育館	0.18
境西中体育館	0.29
以上は今年度改修予定	
■崩壊倒壊の危険がある施設	
殖蓮第二小体育館	0.30
第三中体育館	0.30
名和幼稚園園舎	0.33
赤堀幼稚園園舎	0.38
あずま幼稚園園舎①	0.38
あずま幼稚園園舎②	0.38
赤堀小校舎	0.39
その他Is値0.7未満	

21施設

園が0.33、赤堀幼稚園、あずま
幼稚園が0.38とそれに近い幼稚
園がたくさん残されています。「文科
省が倒壊する危険性がある」と評価
している、Is値0.3以上の施設
について伊勢崎市は「比較的耐震性
が高い」と勝手に決めて改修を後ま
わししてきたためです。
文部大臣から指摘を受けても二〇
一四年以後の改修予定と、まだ先延
ばしする計画です。
「学校がこわれるような地震が起
こることはない」という認識が、耐
震化の遅れの原因と文科省が分析し
ていますが、まさに
にその通りです。